

学校交流会@マレーシア

11月24日(木) 高校2年生272名が修学旅行にて、マレーシアのSMK Pasir Gudang校を訪問し、交流を深めました。同校への訪問は現高校3年生からスタートし、長期休暇直前で大切な試験中にもかかわらず、熱烈な歓迎を受けました。両校の代表の先生(本校は前田校長)と代表生徒(本校は藤本さん)の挨拶と記念品交換(本校からはペナント)があり、マレーシアの伝統的な武道が披露されました。本校からは橋口さんと梶原君による見事なけん玉の妙技と、有志による迫力満点のヨサコイが披露され盛り上がりました。その後グループに分かれ、現地の伝統衣装を鑑賞したり、一般的な遊技や国技のセパタクロ(蹴まりのようなスポーツ)をとおして交流しました。生徒からは「英語が通じてうれしかった。またどこかで会いたい」「SGHの課題研究(多文化社会)についてインタビューできました」「笑顔とおもてなしの精神に感激しました」との感想が聞かれました。



SGH講演会@マレーシア

11月24日(木) 高校2年生の修学旅行にて、JTBアジア・パシフィック本社(シンガポール)より酒井浩之氏をお招きし、SGH講演会を開催しました。夢であった英国留学の際には、一番前の席で講義を傾聴するだけでなく、同じ講義に2回出席して理解を深めたエピソードが紹介されました。インド、カンボジア、ベトナム

で「人と人をつなぐ仕事」を創造してきた経験談に、「仕事をとおして社会貢献する」真摯な姿勢が感じられました。お父様が亡くなる前に一緒に英国を旅行することができ、少しは恩返しできたというお話には涙ぐむ生徒も。講演後は多くの質問が寄せられ、「異なる文化的背景を持つ人との接し方は?」という質問に、「その人の良いところを探すこと」と回答していただきました。「今の夢は何ですか」という質問には、「子どもの夢を叶えてあげること」と優しい笑顔で語られました。1時間のご講演に全員が魅了され、グローバルな視野を持ち、勉学への熱意と社会的責任を果たす使命感を心に刻みました。



これからの人生で、日々学ぶべきものとして、①平和的に持続可能な発展に寄与する精神 ②幅広く異文化を理解しようとする態度 ③課題の解決に向けた行動力 ④リーダーシップとフォロワーシップ ⑤自分の意見の発信 自分を持って、社会の発展に貢献する→「ともによき世を創る」光になれる人材 と激励いただきました。最後に、「自分の夢と支えてくれる人への感謝を胸に、長崎から世界へ。平和と共栄を目指すリーダーの活躍を、地域と世界が、待ち望んでいます。」と熱いメッセージをいただきました。